

台湾ミッショントリップ 2019

世界宣教を見よう！知ろう！祈ろう！



参加メンバー

氏名	性別	教会名
吉持済実（よしもち さみ）	女	茨木聖書教会
齋藤頌子（さいとう しょうこ）	女	西大寺キリスト教会
齋藤真依（さいとう まい）	女	西大寺キリスト教会
金英実（ジン インシー）	女	横浜上野町教会
本澤聖生（ほんざわ みお）	女	国立キリスト教会

引率・同行

氏名	性別	教会名
齋藤千恵子（さいとう ちえこ）	女	谷原キリスト教会
原山いずみ（はらやま いずみ）	女	松本中央教会（国外宣教委員）

現地ボランティア参加：青木証子（あおき しょうこ）

計 7 名

日付		午前 午後	プログラム
6/29	土	午前	
		午後	台湾桃園国際空港に集合、台中へ移動、ミーティングと打合せ
6/30	日	午前	立新（リーシン）教会礼拝（証し、特別賛美、説教）
		午後	キャンプの打合せと準備、ミーティングと分かち合い
7/1	月	午前	教会キャンプ（バイブルタイム・アクティビティー）
		午後	教会キャンプ（アクティビティー）
7/2	火	午前	教会キャンプ（バイブルタイム・アクティビティー）
		午後	教会キャンプ（アクティビティー）
7/3	水	午前	教会キャンプ
		午後	観光・買い物、夜市など
7/4	木	午前	台湾桃園国際空港へ移動
		午後	解散（帰路）

台湾ミSSIONトリップに参加して

茨木聖書教会 吉持済実

台湾ミSSIONトリップ2019に参加し、台湾での6日間を通して、台湾について多くのことを学びました。特に、台湾の子どもたちの親との関係や家庭環境について、子どもたちが大人になっても信仰を保つための宣教について知ることができました。親の権限の強さや離婚再婚家庭が多いこと、成人を迎えてからクリスチャンとなる人が多いこと、日本人として共感する部分もあれば、考え方の違いに驚かされる部分もありました。

台湾ミSSIONトリップ中に立新教会で行われていたキャンプに参加できたことも、とても良い経験でした。台湾の子どもたちのメッセージを真剣に聞く様子や大きな声で賛美する姿はとても印象的でした。また、多くの子どもたちが「神さまを信じたい」と手を挙げており、子どもたちが大人になり洗礼を受けることを立新教会の牧師やスタッフ、齋藤先生ご家族は切実に願っていました。また、齋藤千恵子先生は、「様々な環境で育つ子どもたちが教会に来て、クリスチャンの大人たちと過ごし、御言葉を聞く中で、愛をチャージしてほしい。」とおっしゃっていました。子どもたちとたくさんハグをし、子どもたちの将来を考えながら祈っている先生の姿もとても印象的でした。



また、齋藤先生ご家族と過ごす中で、宣教師として遣わされた台湾での生活が神様に守られていたものであったことも知れました。「安定した収入があったわけではないし、台湾での生活は言語や文化の違いに適応するために必死であったが、不思議と全てのことが備えられ、生活が守られていた。クリスチャンであったからこそ、様々なことをポジティブに捉えることもできていた。」と話していました。神様は全てを備え、人が思う以上の最善のものを用意してくださる。神様がともにいるからこそ、人はどんなことでもできるのだということを学びました。

学生時代から、海外に行き、国外宣教の働きを知りたいと思っていました。学生時代にはその思いは果たされませんでしたが、神様は、今回のミSSIONトリップを備えてくださっていました。台湾の子どもたち、特にキャンプで出会った子どもたちが大人になっても神様と繋がり続けることを祈ります。また、現在、宣教師として遣わされている先生方や宣教師の子どもとして海外で生活している子どもたちのためにも、神様が必要を満たしてくださることをこれからも祈り続けたいと思いました。

この夏、海外で子どもにかかわる奉仕を願っていたところ、英語圏での小学生キャンプ奉仕のオファーがあり、神様が与えてくださった機会と思い準備を進めていました。しかし先方の理由でその道は閉ざされてしまいました。そんな時、この台湾ミSSIONトリップを勧められました。×切を少し過ぎていたにも関わらず受け入れていただけたこと、ぎりぎりで飛行機チケットがとれたことを通して、神様が最善の道を開いてくださったと思いました。

キャンプには、複雑な家庭環境で育った子、今もなおその環境に置かれている子どもたちがたくさん来ました。中国語ができない私は直接話すことはできませんでしたが、ずっと手をつなぎたがる子や話せないのをわかっていてもなお話しかけてくれる子がいたりして、子どもは世界共通で面白いなあと思うと同時に、声をかけられない自分が悔しくもありました。

今年もたくさん子どもたちが神様を信じる決心、教会で奉仕をする決心をしました。普段教会に来ていない子たちも大きな声で賛美をし、真剣にメッセージを聞き、祈りをささげていました。彼らの決心が神様に覚えられて、受洗する日が来るよう祈り続ける必要があるんだなと思いました。

途中体調を崩し、声がかれ、咳もひどくなってしまいました。最後まで頑張れるかと弱気になりました。そんな中で神様は弱さの中で神様に頼ることの大切さを教えてくださいました。今私は原因不明の体調不良の中にいます。最初はなぜ神様は私にこのような試練を与えるのかと思いました、だんだんこの中で前向きに神様と生きて行こうという思いが与えられてきました。

小学三年生で受洗しましたが、中学高校で勉強と部活の忙しさに追われ、人間関係の悩みに心を奪われ、教会には行っていたものの神様のいない信仰生活を送っていたように思います。勉強や部活を頑張っていた理由の一つに人に認められたいという思いがあったことも認めざるを得ません。神様は人の思いからすることは、この世では成功を収めたとしても、神様の喜ばれる実を結ばないことをわからせるため、ただ神様だけを求めて生きていけるように、刈り込みをなさっているのだと思いました。しかし、神様はたくさんの恵みも与えてくださっています。

この台湾ミSSIONトリップもそうです。弱さの中で働いてくださる主を覚えしました。やりたいことを思うようにはできませんが、今私にできることを通して神様の栄光を表していきたいと思っています。

わたしの枝で実を結ばないものはすべて、父がそれを取り除き、実を結ぶものはすべて、もっと多く実を結ぶように、刈り込みをなさいます。ヨハネの福音書15章2節



今回ミッショントリップで訪ねた立新教会は、わたしが中学・高校生のおきに毎週通っていた教会です。とくに高校生のときは、長期休み中に教会のキャンプや学童保育を手伝っていたので、今回のミッショントリップを通じて、当時関わっていた多くの子どもたちと再会することができました。小さな1年生だった子が小学校高学年に、3, 4年生だった子たちが頼もしい中学生スタッフに成長していました。

キャンプで歌った歌のなかに、「天父的花園」という歌があったのですが、この歌詞と子どもたちの成長の様子が重なりました。この讃美歌では、神様の子どもたちを花にたとえています。歌詞は以下のようです。「花壇の持ち主である父なる神様は、一つ一つの花を宝物のように大切に守っている。風が吹いても、雨が降っても、お花の成長は神様の手のなかにある。心配しないで、あなたの成長は神様の手のなかにあるのだから。」

立新教会の学童保育に来ている子どもたちのなかには、決して恵まれた家庭環境で育ったわけではない子どもたちがたくさんいます。きっと、この歌詞のように厳しい状況に遭うこともあるはずです。しかし、教会につながり続け、大きく成長した子どもたちを見て、ひとりひとりのうえに神様の御手が働いていることを実感することができました。また、王牧師夫妻が子どもたちに献身的に仕える姿を通して、子どもたちの成長の背景には、多くの人の祈りや支えがあることも確認しました。

ミッショントリップで感じたことを振り返るなかで、クリスチャンの両親をもち、教会で育ってきた私自身も、たくさんの人の祈りに支えられ、神様の御手のなかで今まで歩んできたことを改めて考えさせられます。これからは、祈られるだけでなく、立新教会の子どもたちが神様の愛にとどまり続けることができるように、これからの人生をみことばと共に歩んでいくことができるように、祈り続けたいと強く思われたミッショントリップでした。



台湾ミッショントリップに参加して

齋藤真依

14年間住んでいた地を離れてから1年経ち、所謂“台湾ロス”に苦しんでいた頃に私は今回のミッショントリップに参加しました。目に映るもの、耳で聞くもの、口に入るもの、全てが懐かしく、一瞬一瞬を楽しむことができました。台湾ミッショントリップのメインイベントであった立新教会での子どもキャンプ。私はキャンプの様子を写真に収める奉仕を任せていただきました。カメラを構えながら子どもたちの様子を見ると、純粹にキャンプを楽しむ姿がとても可愛らしく私の目に映りました。

40人程のキャンパーの殆どが立新教会が行っているアフタースクールプロジェクト、課補班に通っている小学生です。中には複雑な家庭環境に生まれた子どもや、学習障害を持っている子どもも少なくはありません。最初は大人を信頼することも中々出来ない子どももいたと聞きました。しかし、聖書のお話を聞いている子どもたちの様子を写真に収めようとカメラのファインダーを覗けば、そこには一生懸命お話を耳を傾ける子どもたちの姿があります。疑うこともせずに素直に神の言葉を受け入れている子どもたちに、私は王牧師ご夫妻をはじめとするスタッフの皆さんを通して成された神の御業を見ました。果たして私も同じように素直に神の言葉を受け入れ、全てを主に委ねているだろうか、自分の信仰を見直す良い機会にもなりました。

ミッショントリップの参加者の方々と、恵まれた良い交わりの時を持つことができました。きっと普段通りに毎日を送っていたら出会うことが無かったであろう方と共に祈り合い、神に仕えることが出来たことは素晴らしい貴重な経験でした。今回の台湾ミッショントリップを振り返るに当たって、一つ一つのプログラムが祈りに支えられていたこと、神の働きが確かにそこにあったことに改めて気付かされます。神の手が届かない場所など存在しないという事実を強く再確認した私は、今後も世界宣教のために祈り続けていきたいと願っています。



この夏、多くの方のお祈りとご支援の中で、台湾ミSSIONトリップの機会が与えられ、良いメンバーと共にこのトリップに参加できたこと、感謝いたします。

主な内容としては台中にある（立新）教会を訪問し、その教会の夏キャンプの奉仕に参加しました。3日間のキャンプで子どもたちがすごく楽しんでいることが感じられました。大きな声を出して賛美し、先生たちのメッセージにも耳を傾けました。そしてキャンプの他のプログラムにも積極的に参加し、ゲームなどを遊ぶ時には本当に心から楽しんでいる姿が非常に印象に残りました。教会の先生とスタッフ、そして教会の方たちも熱く迎えてくださり、奉仕の時も私たちに配慮してくださり、言葉や文化の差を超え、子どもたちとスムーズな交流ができるように助けてくださいました。すべての壁を超える主の愛と同じ主の体としての一致と喜びを感じた瞬間でした。

但し、土着宗教の影響は思ったより強く、それは子どもたちにも例外ではありませんでした。長年教会に通っていても受洗まで行けない、という牧師先生の悩みを聞きながら、台湾宣教の難しさとはより多くのクリスチャンの祈りが必要であることを実感しました。種を蒔くと、それを成長させ、花と実を結ばせるのは主のみわざですので、その実がすぐ見えないとしても、長期的に働く必要があると思いました。子どもたちへの種蒔きは大事なことでした。その子どもたちのご両親の多くは教会に来られないですが、けれども子どもたちを通して教会と接することができ、み言葉を聞く機会も増えています。実際に送迎に来た家族は教会を信頼していましたし、教会の牧師先生と普通に話しましたので、そのような接点も伝道になると思いました。

台湾のMISSIONトリップは私にとっては尊い機会でした。自分が仕える教会だけではなく、更に多くの教会と国の中で働く主の大能を感じ、お互いに祈り、お互いに仕えることによって与えられる祝福と喜びを感じられました。これからも台湾のMISSIONのためだけではなく、教団のすべてのMISSIONの働きのために引き続きお祈りさせて頂きたいと願っています。



この夏、台湾ミSSIONトリップを実施することができました。引率の齋藤千恵子先生、参加メンバーの皆さん、そして送り出し祈ってくださった教会の皆様から感謝いたします。

今回のトリップの大きな恵みは、神さまが参加メンバーお一人おひとりを時にかなって送ってくださったということです。図らずも今回は女子チームとなり（そのおかげで私も同行者としていただいたのですが）、いろいろなもの（食事、宿泊、車？など）をシェアしながら過ごしました。車内の交わりでは大盛り上がり、そして夜のミーティングでは、神さまの恵みをいろいろと分かち合うことができました。そのような交わりやお証しを通して、神さまがそれぞれの歩みに働いてくださっていること、そしてそんな今だからここに送ってくださったのだということを知りました。また参加メンバーがそれぞれの賜物を用いてアイディアを出し合い、奉仕をしてくださったことも感謝でした。宣教地訪問の時にいつも思うのですが、今回も、神さまが時にかなってそれぞれのメンバーをこのミSSIONトリップに送ってくださった、と心から感謝しました。

また私自身、今回、立新教会を訪問させていただけたことが大きな恵みでした。立新教会の皆さんと直にお会いし、ともに主を見上げ賛美することができたこと、また課輔班の子どもたちが本当にうれしそうに教会に集っている様子を見ることができ、主に感謝しました。特に今回千恵子先生が引率をしてくださり、齋藤家の頌子さん、真依さんも参加してくださったので、立新教会の皆さんも久しぶりの再会に大喜び。愛餐会には齋藤家の好物メニューがいろいろと並び、この教会で齋藤宣教師ご家族がどれだけ愛され、ともに奉仕してこられたかを見せていただいた気がしました。

そして課輔班のスタッフの皆さんと一緒にご奉仕できたことも大きな恵みでした。事前の準備やミーティング、祈りを通して、子どもたちの救いのための情熱や祈りを見せていただき、厳しく叱るときには叱り、遊ぶ時には思い切り遊ぶ、日々関わっているからこそその信頼関係に教えられました。開拓の最初から地域に仕えていく教会として課輔班に取り組んできた立新教会。その働きを見せていただくことができ、本当に感謝でした。子どもを迎えに来たおかあさんが3人の子どもをバイクに乗せて笑顔で帰って行く姿を見送りながら、この地域の家庭に、神さまの愛と喜びの知らせが届けられますようにと祈りました。主の御業が成されますことを信じ、祈りつつ。



台湾ミSSIONトリップの感謝

齋藤千恵子

台湾ミSSIONトリップ引率のお話があったときには、心の中ではガッツポーズでした。私たち家族は、2018年の夏に台湾から本帰国。南国の仕様のからだにはきつい日本の冬を過ごし、短い生涯の大半を台湾で過ごした三女は、なんとなく台湾ロスな日々を過ごしていた頃でした。しかも聞けば、私たち家族が最後の6年間で過ごした懐かしい立新教会で、夏の課輔班のキャンプを手伝うという企画とのこと。完璧すぎるタイミングに神さまの御名を崇めました。すぐに受け入れ先の立新教会に電話したのですが、その時の王師母（牧師夫人）のエキサイトぶりも大変なものでした。さっそくミSSIONチームの宿泊先を手配し、キャンプのプログラム、私たちの奉仕内容などの計画が立てられ始めました。

チラシも完成し、メンバーの募集が始まりました。一番に申し込んだのはうちの次女頌子と三女真依。続いて横浜上野町教会の伝道師でもあり、神学生でもある金英実師。そして締め切り寸前に茨木聖書教会の吉持済実姉の申し込み、続いて国立キリスト教会の本澤聖生姉の申し込みがあり、ここに委員会から原山いずみ師が加わり、かくして女性ばかりの7人のチームが生まれました！さっそくLINEグループで奉仕内容を話し合い、事前の持ち物なども確認し、指折り数えて待ったその日がとうとうやって来ました。

チームの宿泊場所は、教会から車で15分ほどのところ。冷房完備の5LDK、階下は朝ごはん屋さんという最高のロケーションでした。そして今は立新教会が所有、かつて私たち家族が乗っていた7人乗りの車を私が運転し（免許がまだ生きていた！）、チームの移動が自分たちで自由にできたのも感謝でした。

礼拝ではチームで日本語と英語、中国語の賛美のご奉仕をし、一人一人自己紹介をしてから済実姉と聖生姉に短い証しをしていただきました。そして礼拝説教は金英実師。台湾なまりのない流ちょうな中国語にみなさん感心しつつ、熱心に耳を傾けておられました。

次の日から3日間は日帰りキャンプです。私が初日に子どもたちに聖書を語り、頌子姉がゲーム指導や賛美リードのご奉仕をしました。真依姉はカメラ担当。チームのメンバーは二手に分かれて、クレープづくりと紙皿フリスビーの工作の担当をし、二日間の午前のアクティビティを盛り上げました。また午後には毎年恒例のスイカ割り、日本から持って行った水ヨーヨー釣りやスーパースクールなど日本の夏を演出しました。そしてフィナーレは、これまた毎年恒例の水戦争！子どもたちが思い思いの水鉄砲（いやもはやバズーカ砲）でチームのメンバーも一緒になって思いっきり遊びました。

初日に高雄から来てくださった鈴木えりか姉、全日程で行動を共にし、通訳などで大活躍してくださった青木証子姉のお働きにも感謝。そして何より、立新教会と背後で祈り支えてくださった国外宣教委員会のみなさん、同盟の諸教会のみなさん、そして全日程を守り導いてくださった神さまに感謝でいっぱいミSSIONトリップでした。



你是我的一切

Ni shi wo di yi qie

你是我依靠的力量
Ni shi wo yi kao di li liang
你是我尋求的寶藏
Ni shi wo xun qiu di bao zang
你是我的一切
Ni shi wo di yi qie

你好比貴重的珍寶
Ni hao bi gui zhong di zhen bao
我怎能放棄你不要
Wo zen neng fang qi ni bu yao
你是我的一切
Ni shi wo di yi qie



耶穌神羔羊
Ye su, shen gao yang
配得大讚美
Pei de da zan mei (× 2)



ミッショントリップアルバム



2019 ミッショントリップ台湾 会計報告

※通貨レート (日本円→台湾ドル) 3.60
(台湾ドル→日本円) 2.97

収入項目	金額(円)	備考	支出項目	金額(円)	備考
参加費	¥ 200,000	40,000円×5名	現地費用	¥ 95,771	※内訳は下記(現地費用報告)を参照
委員会会計より	¥ 33,432	引率者費用・その他として	齋藤千恵子師へ	¥ 32,361	航空券往復(預け荷物費用含む)
				¥ 3,224	空港までの交通費往復
				¥ 2,395	海外旅行保険¥4790の半額支給
				¥ 4,815	キャンプ材料購入費用
献金	¥ 13,365	4500元(立新教会からの献金)×2.97		¥ 70,000	謝礼(補助含む)
	¥ 7,000	飯田晶子師より献金	原山いずみ費用	¥ 27,209	航空券往復
				¥ 7,300	預け荷物費用
				¥ 8,412	空港までの交通費往復
				¥ 2,310	海外旅行保険
			通信費(wifi)		(Wi-Fi費用は別項目から支出)
			記録集発行費用		(記録集発行費用は別項目から支出)
計	¥ 253,797		計	¥ 253,797	

現地費用

支出項目	金額(円)	備考
宿泊費	¥ -	0元
食費	¥ 32,458	9,016元
食費(その他)	¥ 7,560	※献金分より参加者へ手渡し2,100元
交通費	¥ 18,828	5,230元(駐車場代含む)
教会への献金	¥ 21,600	6,000元
おみやげ	¥ 4,300	※成田にて宿泊場所提供者と立新教会へ
雑費	¥ 11,025	※通貨差額、両替手数料など(2.97)
		台湾元支出 22,346
計	¥ 95,771	

会計担当：原山いずみ



